

事業目的

集中力が散漫な状態での漫然運転は自動車運転時の死亡事故の原因として最も頻度が高いが、漫然状態を高精度に検知する技術はまだ不十分である。既存の眠気モニターは、事故リスクが高いにも関わらず眠気検知が困難な状況・集団が存在するという実用上の課題を抱えている。そこで本事業では、眼瞼指標の非接触計測による反応速度の連続値推定法を用いた運転時眠気検知装置を開発し、ドライバー状態を高精細に把握する新たなモニタリング装置の実用化を目指す。

事業内容

1. 車載可能なリアルタイムモニタリングシステムの試作品を完成させる。
2. ドライバー用・運行管理者用のウェブアプリシステムを開発する。
3. 一般ドライバーでのFeasibility Studyを実施し、使用時の問題、システムに対する評価を行い、それに基づき改良を繰り返し、職業ドライバーを対象としたPoC用試作品を完成させる。
4. 職業ドライバーを対象としたPoCを行う。PoCでは、バス・タクシー・トラック事業者を対象に、実車に搭載した本システムを長期使用してもらう。本システムを利用する場合には、運転中や運転後の眠気、運転パフォーマンスの改善が見られるかを検証する。

事業成果

事業者情報

株式会社ヴィジライズ
(筑波大学発スタートアップ)

所在地: 茨城県つくば市

設立年: 2025年

HP: <https://vigrise.co.jp>



概要図等

事故リスクが高いが、従来技術では
眠気検知が困難な状況・集団

軽度の睡眠制限後
昼間の自動運転
中年後期者の徹夜後
夜勤従事者の夜勤後
軽度・中等症の
睡眠時無呼吸症患者

⇒ 新技術で
検知可能に

躍進500

⇒ 実車でも使用できる
装置を開発

↓
既存技術では見逃されていた軽度の
眠気に伴う事故のリスクを低減

日本発のドライバーモニタリング技術として世界的に高い価値を創出